

わが数学科 (第 43 回-1)

成田国際高等学校の巻

1 学校紹介

本校はJR、京成成田駅から徒歩10分、我孫子、千葉、佐原、津田沼、成東方面から、電車を使って1時間以内で通える交通立地にあるためか、入学者選抜の倍率は毎年2～3倍になる。普通科に加えて、国際科が設置されているため、生徒は県内広域から登校する。ここ5～6年では、木更津、一宮、茨城県神栖からの生徒もいた。各学年普通科5クラス、国際科3クラスの編成で、全校生徒約960名の生徒の男女比は1：2である。イギリス、韓国、アメリカ、台湾、オーストラリアに姉妹校や交流校を持ち、毎年短期派遣、修学旅行、フィールドワークなどが行われている（残念ながら昨年末からのこれらの派遣は中止されている。修学旅行も国内に変更になったが、それも不透明である。）。それに関する行事も多数行われている。ALTが複数常勤していて、日常的に英語の会話が聞こえてくる。SGHの研究指定校として5年間、生徒全員が活動していた（2年前に終了）。また部活動も盛んで、運動系、文化系とも積極的に活動しており、加入率は95%を超える。全体的に活気のある学校であり、廊下を歩く先生や保護者に対し、すべての生徒が挨拶する学校でもある。

2 教育課程

普通科・国際科とも、第2外国語の選択ができるようになっていくことが大きな特徴である。数学に関しては、表のとおりである。国際科の数学Ⅱと数学Bは選択になっている。近年は、国立志向の為か、国際科でも数学を選択する生徒が多くなっている。また、3年次は学校設定科目で、1・2年次既習の数学の内容を学びなおすことができるようになっていくが、こちらも近年選択者が増加している。また、少数ながら理系の難関校を志望する者もいる。

学年	1年		2年		3年	
	普通科	国際科	普通科	国際科	普通科	国際科
数学Ⅰ	3	3				
数学A	2	2				
数学Ⅱ			4	(4)		
数学B			2	(2)		
数学Ⅲ					(6)	
探究数学ⅠA					(2)	(2)
探究数学ⅠB					(2)	(2)
探究数学ⅠAⅠB					(2)	

()は選択

3 数学科紹介

本人に原稿を書かせると堅苦しくなるので、事実を少しだけ誇張して、担当者Mが紹介します。

澤木 貢 (本校 12 年目, 再任用, 進路指導, 1 年副担, 卓球部)

ある特定のクラスでは、廊下を通っただけで、ざわつくほど女子生徒に大人気な先生。これに関しては理由不明。数学は、わかっているのに面倒くさがって、議論に参加してこないことが多いが、放課後等で生徒からの質問には、楽しそうに答えている。今年は、授業を忘れて、生徒が呼びに来ることがまだないと豪語していたが、9月現在、休校もあったため、そんなに授業が行われていないためだと思われる。人生楽しんでいる先生。

荒原 敏明 (本校 2 年目, 情報, 1 年担任, ソフトテニス部)

授業の進度が人一倍早く、生徒から恐れられている。「中学で習ったな。ここはやっておけ。」が口癖。ところが、生徒がたくましくついていき、理解していくのが不思議である。ソフトテニス部の顧問であるが、今年の新入部員が少ないことを嘆き、バレー部の新入部員を、本気で全員転部させようと画策したが、あえなく失敗。熱い先生。

津幡 翔 (本校 3 年目, 進路指導, 3 年担任, 野球部)

人事交流で前任は、中学校という経歴の持ち主。本人いわく希望していないと言っている。今年は野球部、3年担任、数Ⅲ担当、進路指導部副主任、数学部会を、軽くこなす。加えて着任時は、教えたことのない科目の情報を喜んで教えていた。新居建設中で、公私ともに充実している。完成の折には、数学科全員で押しかける予定。単なるスーパーマン。

安部 志朗 (本校 10 年目, 国際教育, 3 年副担, 将棋部)

とても真面目な先生。文学をこよなく愛し、新聞に自作の川柳や俳句を投稿し、よく掲載される。数学科の職員にメールを送って近況を知らせる。怪我のため職務を離れたが、すぐ復帰した。生徒に対して、真剣に向き合う、こちらも熱い先生。

小泉 鐘一 (本校初任 2 年目, 教務, 1 年担任, 女子ソフトボール部)

野球部出身のスポーツマン。昨年の指導教官のMより、大学生レベルの数学の問題を出題され、瞬時に答え、みんなを驚かせる。教務だろうが、生徒指導だろうが、ITだろうがなんでもそつなくこなす、宇宙人。才能溢れるうらやましいお人。今度は、絶対に分からない難題を、解いてもらおう。あっさり答えられるのが怖い。面倒見がよく、生徒に慕われる。顔に似合わず知性派。

小島 壘 (本校 2 年目, 情報, 2 年副担, バドミントン部)

情報の免許をもち、前任校では、成績処理から調査書等すべて一人でこなした。すばらしい才能をもちながら、爪を隠している。数学に関しては、丁寧に1からTeXで組版するこだわりの人。数学部会に推薦されるべき人。休みの時に、子供を連れてくるが、コンピュータでコピーしたかのように似ている。基本的にSEをやった方が儲かる人。

梅谷 信太郎 (本校1年目, 生徒指導, 2年担任, 男子ソフトボール部)

本校に着任してすぐ2年担任を任された頼りになる人。私のとなりで新学期の準備を完璧にこなしていたが、休校で肩透かしを食らった。数学を熱心に勉強している。澤木先生の強者エピソードに大笑いしていたが、こちらは本当に授業を忘れて、生徒が呼びに来たと言っていた。笑っている場合ではない。毎日炎天下の部活のせいで、日焼けしているが、この文章が世に出るころには、戻っているに違いない。元気な先生。

松沢 史郎 (本校6年目, 情報部長, バレーボール部)

単なる普通のおじさん。いい年して、体育館に毎日通っている。昔はスポーツ万能だったと言っているが、誰も信じてくれない。澤木先生とは永遠のライバル。

数学科室

教室の半分の部屋に、8個の机とその他が並ぶ。今日もみんな仲良く仕事している。